

第62回全国社会人選手権滋賀県大会要項

1. 試合日程 ①組み合わせ ②会場	・3/初旬～4/下旬or5/初までの各日曜日（参加チーム数により未定ですが、2/中旬頃までにはHPに掲載予定） ・組み合わせについては、下位リーグ所属チームから抽選にて決定。 ・シードチームは昨年のベスト4とする。 ・ビックレイクA・B・C 及び県内のグラウンド （ビックレイクについてはアップ場所がないのでアップシューズ、ジョギングシューズ等持参の事！）
2. 試合方式 ①出場資格 ②試合時間 ③勝敗 ④ユニフォーム ⑤ボール ⑥選手交代 ⑦その他	・出場資格は2026年度登録選手とし、2025年度登録選手は出場できないものとする。 注：必ず選手証、写真の貼っている物有効！選手証のない場合は出場不可！ ・40分ハーフの80分（準決勝・決勝のみ同点の場合、延長10分ハーフ、それでも勝敗の決しない場合はPK合戦とする） ・試合時間に遅れたチームはその場で棄権と判定する。試合は7名で成立するものとし、退場等で人数が7名未満になった場合はその時点で棄権負けと判定する。公式記録は5対0とし、次年度の本大会の参加を認めない。 ・上記試合時間内に勝敗が決しなかった場合は、P K戦による。 ・各チーム2着準備（G K含む）し、やむをえず同色の場合は抽選番号の大きいチームがユニフォームを着替える。 ・シードチームとの対戦の場合はシードチーム以外のチームが着替えるものとする。 ・優先権がある場合を含めAWAYユニフォームが揃っていない場合は不戦敗になる。 ・準決勝・決勝のみ社会人連盟で用意する。（モルテンヴァンタジオ5号検定球） （準々決勝までについては1球/チーム出してください） ・交代要員の数：7名以内 ・交代を行う事ができる数：5名以内（※交代回数はハーフタイムを除き、3回までとする。） （準決勝/決勝のみ延長戦の場合は1名追加ができる） ・脳震盪による交代（再出場なし）について a. 1試合において、各チームは最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。 b.「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているにかかわらず、行うことができる。 c.「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは（脳震盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。 d. 脳震盪で交代した選手で、脳震盪でなかったことが医師の診断書で証明できる場合に限り次戦以降の出場を認める。 e. 交代要員を使い切りなお上記b.の状況の際は再出場を認める。（上記C.の場合は認めない） ・本大会を通じて累積2枚の警告を受けた選手は、次の1試合を出場停止処分とする。また、1発退場を受けた選手は別途、規律委員会にて処分を決定し通知する。通知が来るまでは次試合の出場は停止とする。 ・上記以外は日本サッカー協会のルールに従う。
3. 運営方法 ①メンバー表の提出 ②試合結果 ③グラウンド利用について ④審判実施方法	・試合時間30分前には必ず協会役員にメンバー票と選手証を提出すること。選手証の提示がない場合は棄権扱いとする。 ・試合結果については当日の会場役員（協会スタッフ）及びグラウンド責任者に必ず審判報告書を渡す事！ ＊大会運営委員連絡先 ①080-4766-3466 ②090-9698-5781 ・グラウンド内は禁煙とし、グラウンド外にも煙草の吸い殻等のポイ捨ては慎むこと。（喫煙場所にて喫煙） ・ジュースの空き缶、ペットボトル等のゴミは必ず持ち帰り、会場に放置しないこと。 ・グラウンド整備等の後始末は最終試合の両チームで行い抽選番号の大きいチームが最終確認すること。 ・審判の3人は必ず審判服を着用し主審は必ず有資格者が行い、第4の審判を必ず本部席に配置させること。（第4の審判はジャージ着用でも可であるがサンダルは不可）
4. その他 ①注意事項 ②参加費	・関西大会出場チームはその運営規定に従う。 出場辞退は認めない。 ・該当チームには関西大会参加料を支給する。 関西大会日程：7/末～8/頭 ・やむをえず試合を棄権する場合は、試合の3日前までに対戦チーム、グラウンド担当チーム、審判担当チーム、大会運営委員に必ず通知すること。ただし割り当てられたグラウンド準備や審判担当業務については、棄権の場合でも責任を持って行うこと。 ・審判・準備・グラウンド利用等で義務を果たさなかったチームは本大会において失格とし以後の試合は棄権扱いとする。 （協会の規律委員会ですその処分を決定する。除名も含む） ・参加費の振込については2026年度大会のため4月以降にお願いします。別途案内させていただきます。